

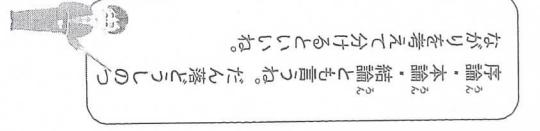
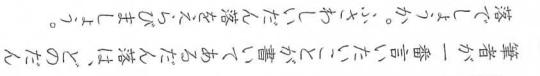
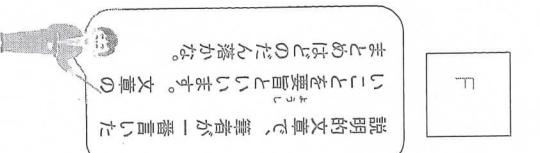
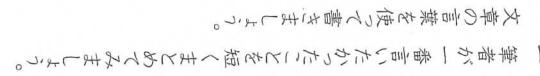
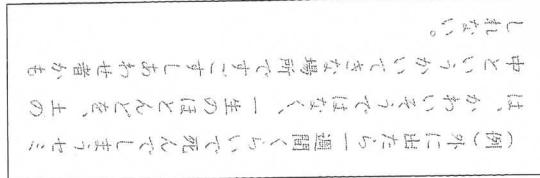
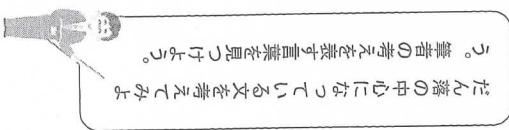
文章の構成やろんの進め方を捉えて要旨をあらへます。

- () 文章全体から、筆者の一番言いたいこと(要旨)を読み取ることができる。() 文章構成を考えて、文章全体を三つに分けることができる。

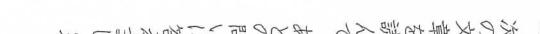
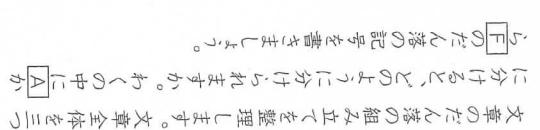
ふりかえり

北村雄一『極限生物まかし』(文庫)

参考文献より作成



	はじめ	はじめ	終わり
F			
E			
D		B	C
C		B	C
B		B	C
A		B	C



か。セミは、一生のほんどを、そんなかいて生きながらうすか。しかしたらすのすべく、そこそく敵もほんどいい。土の中は、ビッグな木なんだから。木の根のしるをするは、夏は、みんなひらくでくらしていけない。でも、セミの虫に生きるは、一生はどちらか生きるか。土の中は、かわらそつではめぐらしくて、死んでしまった。

F 土の中はくらべて、動きまわるにどもできぬ。人は、とにかくない。生き生きがくらす世界がある。なんだ人間に見えるまい。以外は、土の中にゆっくり冬みとします。地面の下にもりて、太陽のねつによりきりて、太陽が一番高くなる六月は、体をあため、植物を食べて生きていく。また虫たちには、太陽がぼっこっている間に、ほどの時間ひなたほっこに使う。虫は、一年のうち少しだけあたかくなる六月だけ活動する。

E 北極に近い寒い地域にすむハイアーテックモスというが場所なのかもしれない。

D はじめは、今はくですむのは大変だと思った。けれど、さばねがつたりするのだ。

C また、体から水分がじょはつしないように、昼間は、すの中な体のつくりにこなつて。

B 一年じゅうほどんど雨のからなつればくに、ヒネズがくわらでいる。一日に手に入られる水分のよりが少ないと、体からなんでもぐりこんで生活していく。は、深さが一メートルか、それ

A セミは、よつて虫のあいだ何年古暗い土の中でもうす。成虫とな

ゴー ル 文章の構成をどうして、大切なことを読み取らう。

読 13 ①	どのよにいれていくのかな?
解 説	解 説

小学校算数 力だめしプリントパート5

【5年生 小数の計算】

解答

解答

名前

組番

年

【解答用紙】

1

(1) H19 A[1](7)	7	(2) H23 A[1](2)	97.3	(3) H19 A[1](2)	91.8	(4) H24 A[1](4)	63
(5) H19 A[1](3)	7.44	(6) H20 A[1](4)	1.9	(7) H21 A[1](4)	37	(8) H19 A[1](4)	20
(9) H26 A[1](4)	0.4	(10) ホーリー					

2あまり1.1

2

(1) H20 A[2](1)	68.3	(2) H24 A2	5.96
-----------------------	------	-----------------------	------

1 , 4

3 H20A[3]

4 ÷ 8
式
答え
(例) 0.5 kg

5 H22A[2](1)
式
答え
(例) 0.5 kg

6 H24A[3](1)

4

7

8 H26B[5](2)
4

4 H19A[4]